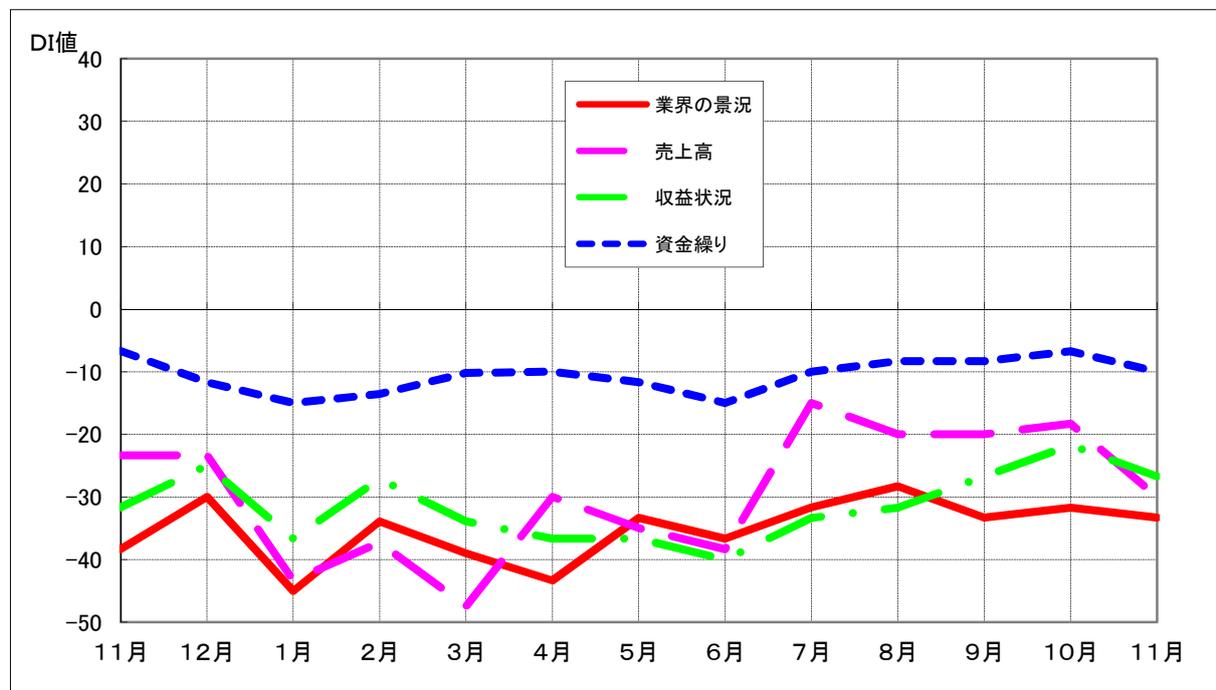


## 業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 平成26年11月～平成27年11月

単位:ポイント



	H26		H27										
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
業界の景況	-38.3	-30.0	-45.0	-33.9	-39.0	-43.3	-33.3	-36.7	-31.7	-28.3	-33.3	-31.7	-33.3
売上高	-23.3	-23.3	-43.3	-37.3	-47.5	-30.0	-35.0	-38.3	-15.0	-20.0	-20.0	-18.3	-30.0
収益状況	-31.7	-25.0	-36.7	-27.1	-33.9	-36.7	-36.7	-40.0	-33.3	-31.7	-26.7	-21.7	-26.7
資金繰り	-6.7	-11.7	-15.0	-13.6	-10.2	-10.0	-11.7	-15.0	-10.0	-8.3	-8.3	-6.7	-10.0

○11月のDI値は前月と比べ、全項目が悪化した。「業界の景況」DI値は1.6ポイント、「売上高」DI値は11.7ポイント、「収益状況」DI値は5.0ポイント、「資金繰り」DI値は3.3ポイント悪化した。前年同月と比べると、2項目が悪化し、2項目が改善した。「売上高」DI値は6.7ポイント、「資金繰り」DI値は3.3ポイント悪化した。が、「業界の景況」DI値は5.0ポイント、「収益状況」DI値は5.0ポイント改善した。

11月の連絡員の報告から、業績改善傾向に傾きつつあるが、依然として先行き不透明感が強い旨の報告が目立った。非製造業からは前月同様、季節変動により商品・サービス需要が左右される報告が多く見受けられたほか、新たな交通システム導入による影響を懸念する報告もあった。

DI値が前月と比べ全て悪化し、今後も先行きを注視する必要がある。一方で、今年度のみを見ると、先月まで「業界の景況」DI値が対前年同月比で一貫して悪化傾向であったが、ここに来て改善した。

○組合の特記事項からは、製材業から、消費税増税後の反動減を見据え、リノベーションやリフォームのショールームを開設するなど、需要変化に備えた体制整備を図る動きが増えているとの報告があった。また、商店街から「イベント」を催し大変好評だったが、実施日を日曜日に設定したため、シャッターをおろして休業日とした組合員もおり、イベント会場だけは盛り上がりつつあったが、商店街は閑散としていたとの報告があった。